

# 環境デザイン

de

## 医療の場を整える



戸倉 蓉子

株式会社ドムデザイン 代表取締役

第5回

## 患者さんに寄り添う アート之力

皆様の携わっている医療施設にアートはございますか？ 欧米の病院では必ずと言ってよいほどアートが飾られています。アートはなくてはならないものであり、たとえばスウェーデンでは、1937年に「1%ルール」という法律が制定され、病院や学校などの公共施設は建設予算の1%をアートに充てることと定められています。この法律のおかげで病院においても、アートが患者さんにとってどのような効果をもたらすのかという実証もできています。

今回は、医療施設内のアートの効果について考えてみたいと思います。

### 医療施設におけるアートの目的

医療施設にアートを取り入れる目的は、主に3つあります。



#### 事例1 白い壁の待合室に優しさを入れる

医院名にちなんで楠（巨木に成長する木で寿命が長く生命力の象徴とされている）の絵を待合室の正面に飾りました。真っ白だった待合室の壁が温かくなり患者さんに好評を得ています。（くすのき内科 [埼玉県越谷市]）

1. 患者さんの不安を解消しリラックスした気持ちで治療に向かえるようサポートすること
  2. 働くスタッフも気持ちが穏やかになること
  3. 患者さんと医療施設とのコミュニケーションを育むツールとなること
- などです。

### 医療施設に適したアートとは

患者さんに名画を何種類か見せてアンケートをとった研究があります。たとえば、シャガールは「天国に連れていかれそう」、ポッティチェ



#### 事例2 五ツ星のインテリアとアート

病院の増築に伴い特別室を新設。五ツ星ホテルのようなおもてなしをコンセプトにインテリアをコーディネート。家具のデザインや色合いに合わせてアートも一点ものをデザイン。（隈病院 [兵庫県神戸市]）



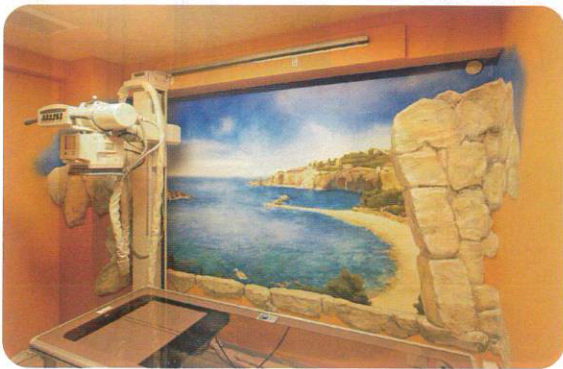
リのヴィーナスの誕生は乳がん手術後の患者さんは「見たくない」、ルノワールやモネの風景画は「害がない」など、患者さんの置かれた状況によって好き嫌いが分かれました。闘病でつらい時は静かな絵を好み、元気になると動き回る子犬のような絵も好まれることがわかりました。アートを選ぶ際は診療科に応じてどのような疾患の患者さんが多いのか、また年齢層なども加味してセレクトしていく必要があります。

最近ではモダンアートといわれる見る人にとって様々に見えるアートも増えてきました。医療施設のコンセプトに合わせて、患者さんの安らぎや希望につながるようなアートを選んでいくことが大切です。



### 事例3 待合室をギャラリーに

待合室での時間は長く感じるもの。少しでも緊張感を和らげリラックスしていただきたいと待合室をギャラリー風に。(神戸大山病院 [兵庫県神戸市])



### 事例4 検査室にだまし絵アート

エックス線やマンモグラフィ検査室は、閉鎖空間のため患者さんに恐怖を感じさせることがあります。リゾートにいるようなだまし絵アートで、少しでも気分をおだやかに。(ピラティスラボ代官山 [東京都渋谷区])



事例5 殺風景なコーナーをトキメク場所に  
病院のエレベーターホールは寂しくなりがち。アートとコンソール家具を組み合わせると一つのシーンを作れば、エレベーターを待つ時間も豊かに感じられます。(黒沢病院附属ヘルスパーククリニック [群馬県高崎市])

## アートのある風景は……

患者さんにとって初めて訪れる病院や検査は怖いものです。そんな患者さんにどう安心感をお届けできるでしょうか。

事例でご紹介したようにアートは心を癒してくれるものですが、その背景にアートを掛けている医療施設は、目に見えない所にも配慮されている施設であることをお伝えしたいと思います。

一枚のアートにも予算がかかるものです。しかしそれ以上に患者さんを思う気持ちやスタッフへの配慮が上回っていると感じます。

医療施設にアートのある風景は経営陣の心の風景であるように思います。

### profile

とくら ようこ：ナースとして慶應義塾大学病院に勤務後、建築家を目指しミラノの建築大学に留学。帰国後一級建築士取得。現在、女性だけの設計事務所、株式会社ドムデザインの代表を務める。感動のある医療環境を多数デザイン。2016年、ベトナムにドムインターナショナル設立。  
一級建築士・看護師・イタリア政府認定デザイナー・宅地建物取引士